

渋川雨水貯留管

施設管理者 : 川崎市下水道局
施設所在地 : 川崎市幸区矢上 450
調査見学時期 : 平成 9 年 2 月 18 日

施設概要

都市化の進展に伴い雨水浸透域や保水地域の減少で雨水流出量が増大し、いわゆる都市型水害が頻発している。本施設は、これらの被害を防ぐため、在来の排出施設の能力を越えた雨水を暫時貯留し、保全することを目的としている。

貯流管：内径 10.4m、計画延長 2,560m、土被り 45m、貯留容量 21 万 m³

返送ポンプ場（発進立坑）：1 基、換気棟（到達立坑）：1 基

工事上の特徴は以下の通りである。

地中連続壁：テーパーカッティング工法

発進立坑：大深度・大規模掘削

発進防護：EM 掘削機による全置換工法、低強度・水中不分離モルタルの採用

シールド掘進：大断面、大深度・高水圧、長距離掘進、急曲線施工

